

令和7年度 第2回高知県子どもの環境づくり推進委員会

次第

令和7年10月12日（日）14:00～15:30
高知県庁本庁舎2階 第二応接室

- 1 開会
(事務局より)
 - ・ご挨拶
 - ・子どもの環境づくり推進委員会委員の交代について

- 2 議事
 - (1) 前回質問に対する担当課の回答について

 - (2) 令和7年度子ども条例フォーラムの開催報告
及び次年度について

 - (3) 「子どもの環境づくり」に関する意見交換

- 3 閉会

前回質問に対する担当課の回答
(子どもの環境づくり推進計画の総括に関するもの)

番号	関係課	事業名	委員からのご意見及びご質問	関係課 補足・回答
①	生涯学習課 人権教育・児童生徒課 警察本部少年課	若者の学びなおしと自立支援事業 心の教育センター相談支援事業 不登校支援推進プロジェクト 少年の立ち直り支援活動	<p>・プラン11の「不登校支援推進プロジェクトの実施」について、<u>不登校の子どもは学校に行けていないので、家にいる。だから社会に開かれるチャンスを持っていない。そういう点を県としてどのように考えるか。</u>(不登校の)数が増え続けているので、多分この方法は上手くいっていない。(計画の柱の一つに)「家庭、学校および地域社会における活動を通じて、人間性、社会性を育む」とあるが、<u>家庭と学校が難しい子どもたちにとって「地域社会」とはどういったものなのか。居場所となり得るような「地域社会」を想定しているのか、</u>と思う。</p> <p>・先日参加した人権集会で、不登校の子どもたちを支えている先生方の発表を聞き、先生方の意欲の高さを肌で感じた。もしかしたら学校の先生方が、そういう不登校の子どもたちが必要とする居場所の形を知っているのかもしれない。<u>不登校の子どもたちの居場所づくりについて、どの課が担当し、どのようにさせるのか、そこをもう少し考えてほしい。</u></p> <p>・<u>不登校の子どもたちの「なぜ学校に行けないのか」という問題にまだ切り込んでおらず、進んでいないと感じる。</u></p>	<p>・居場所づくりは大事。学びの多様な学校やフリースクール、メタバースを活用したオンラインサポートなども含めて、各担当課が取組を進めている。</p> <p>・近年は、<u>不登校出現率が全国平均を下回っているものの、全国と同様に不登校児童生徒数は増加傾向にあることから、多様な教育機会のさらなる充実が必要。</u></p>
②	生涯学習課	環境学習推進事業	<p>・「森林活用指導者育成事業」について、<u>講座の参加人数を成果として述べている。指導者になった時点で成果ではないか、</u>と思う。</p>	<p>・育成研修の全課程(4回)の修了者数を成果としてあげている。指導者が各学校等で森林環境教育を実施できるよう、各市町村等への情報提供を進めていく。</p>
③	薬務衛生課	動物愛護教室事業	<p>・プラン1の「動物愛護体験教室」の課題として、<u>「専門人材や実施団体の確保」とある。私は今、「ペトリオ」という団体で、動物愛護の活動をしており、小学生向けに出前講座をするのを目標としているので、協力したい。</u></p>	<p>・協力の申し出ありがとうございます。高知県では、動物愛護推進員と一緒に県内の小学校に出向いて愛護教室をしています。一度愛護教室を見学いただいて、<u>よければ来年度の動物愛護推進員に応募していただけたら</u>と思います。また、愛護教室以外にも様々な活動をされているようなので<u>一度お話しさせていただきます。</u> 高知県薬務衛生課 088-823-9673までお電話ください。</p>

番号	関係課	事業名	委員からのご意見及びご質問	関係課 補足・回答
④	子ども家庭課	子どもの居場所づくり推進事業	・プラン5、子ども食堂の取り組みについて。近所に子ども食堂があり、友達に会えるし、ご飯も美味しいので好きだったが、最近開いているところを見なくなった。課題に「 <u>定期的な開催への支援が必要</u> とあるが、現実はまだ、人が集まらないだろうと思う。 <u>どのような支援があるか教えてほしい。</u>	<p>・県としても、身近な地域に子どもや保護者の居場所が充実するよう支援を行っているところ。</p> <p>・定期的な開催に向けては、子ども食堂への運営経費等への補助のほか、<u>県社会福祉協議会に配置している「子どもの居場所づくりコーディネーター」による相談支援等を行っている。</u></p> <p>・子ども食堂の周知については、毎年、シンポジウムを開催し、子ども食堂について県民全体で考える場としているほか、同コーディネーターによるSNSでの子ども食堂開催スケジュール等の発信、地域共生社会ポータルサイトでの子ども食堂の取組紹介等も行っている。</p> <p>・今後も、子ども食堂が定期的に開催されるとともに、多くの方に知っていただけるよう取り組んでいきたい。</p>
⑤	生涯学習課 林業環境政策課	環境学習推進事業 山の学習支援事業	・プラン1の「自然体験活動」について。進学や就職で、高知県から人が流出する現状がある。森永卓郎氏の著書で、「田舎を楽しむには教養が必要」とあり、耳が痛い話だと思った。 <u>小さい頃から自然体験をしていたら、教養になっていいなと思う。私が小学生だったら、梅干しの作り方とか、梅酒の漬け方とか、そういう実用的なことを教えてほしい。</u>	<p>・全国森林率1位の高知県にとって、森林環境学習はとても重要だと考えている。小中学校等の総合的な学習の時間等において、植樹や炭焼きなどの体験を通して、本県の豊かな森林環境の大切さや木の良さなどを感じ・学習する事業を支援している。<u>今後も本事業を通して学習機会を支援していくこととしている。</u></p>
⑥	子ども家庭課 人権教育・児童生徒課 幼保支援課	児童虐待防止対策事業等 心の教育センター相談支援事業等 特別支援保育推進事業等	・プラン10、児童虐待やいじめの問題について。「相談しやすい仕組みづくり」とあるが、虐待を恐れ相談できない子どももいるので、例えば幼稚園や保育園などで、先生が「 <u>おかしいな</u> 」と気づき、手を伸ばしてもらような仕組みづくりを考えてもらいたい。	<p>・全国にて、<u>毎年11月に「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」を実施し、家庭や学校などで児童虐待問題に対する関心と理解を得ることができるよう、児童虐待防止のための広報・啓発活動などを集中的に実施している。</u>高知県においても当取組を実施しており、<u>このような活動を通じて周りの方が気づける体制の構築に努めている。</u></p>

【テーマ】

「子どもの環境づくりの面で、今の高知県に足りないもの」

例：「子どもの遊び場が少ないので、●●のような施設があればいい」
「他校の生徒と交流できる場がほしい」
「●●のような制度があったら、高知に住み続けたいと思える」・・・など

- ★ 雑談形式で気軽にトーク（身近なことでもOK）
- ★ 議論を通じて、より良い子どもの環境づくりを目指すためのアイデアが生まれることを期待
- ★ 出た意見は関係課にも共有